

## 日本の南を中心に海面水温が過去最高を記録

8月の日本の南を中心とした海域の海面水温は、平年よりかなり高くなり、特に、関東南東方、四国・東海沖、沖縄の東では、解析値のある1982年以降で最も高くなりました。

8月は、東・西日本から日本の南海上にかけて太平洋高気圧が強く、暖かい空気に覆われ日射も強かったため、これらの地域では記録的な高温となりました。これにより、日本の南を中心とした海域では、海面水温が平年よりかなり高くなり、海面水温が30℃を超える海域も広くみられました。

特に、8月の月平均海面水温について、関東南東方では29.3℃(平年差+1.6℃)、四国・東海沖では29.8℃(平年差+1.7℃)、沖縄の東では30.7℃(平年差+2.1℃)(いずれも速報値)となっており、解析値のある1982年以降で海面水温は年を通して、平年差も8月としては最も高くなりました。

関東南東方、四国・東海沖、沖縄の東では、今後も9月下旬まで海面水温が平年よりかなり高い見込みです。一般的に台風が海面水温の高い海域を通過すると発達又は勢力を維持する傾向があります。台風が発生・接近する場合には、台風情報などの最新の気象情報にご留意ください。

問合せ先： 地球環境・海洋部 海洋気象課 海洋気象情報室 福田  
電話 03-3212-8341 (内線 5127) FAX 03-3211-3047

(別紙)

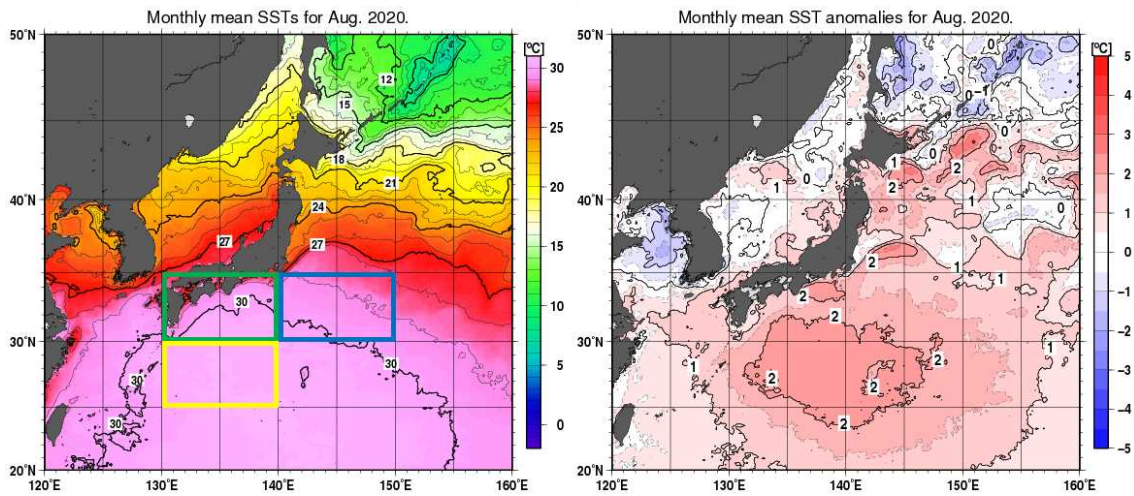


図1 2020年8月の月平均海面水温(左図)と月平均海面水温平年偏差(右図)  
左図の青枠、緑枠、黄色枠が、それぞれ関東東南方、四国・東海沖、沖縄の東の領域を示す。平年値は1981~2010年の平均値。値は速報値。以下の資料も同様。

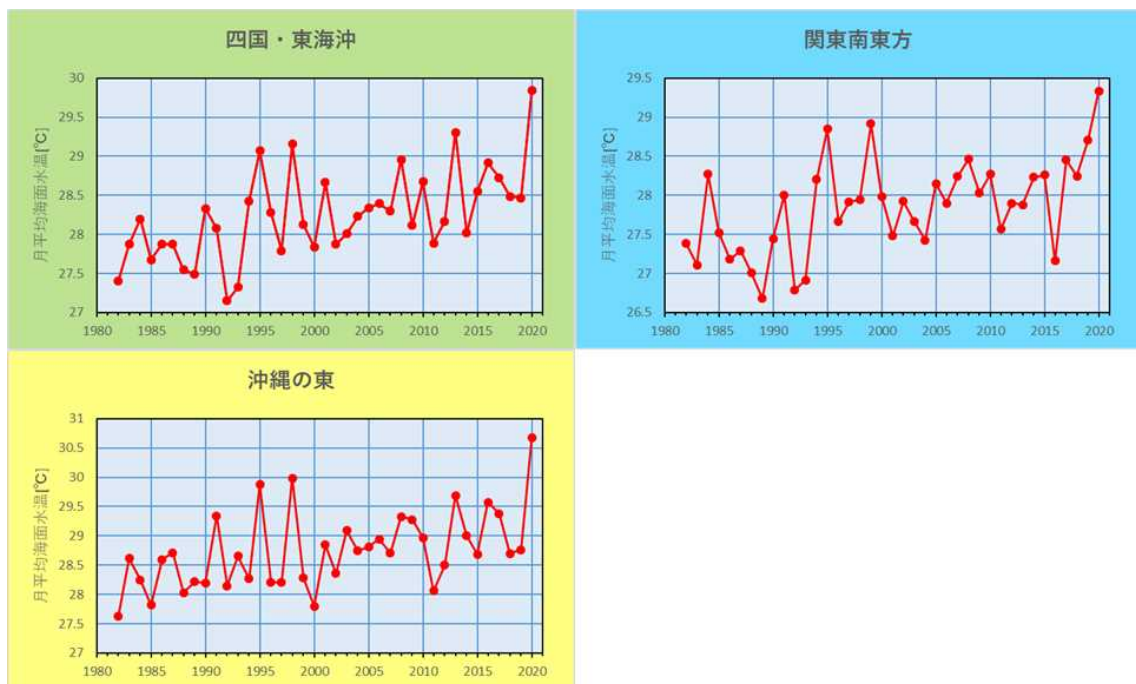


図2 関東東南方、四国・東海沖、沖縄の東の8月の月平均海面水温の推移

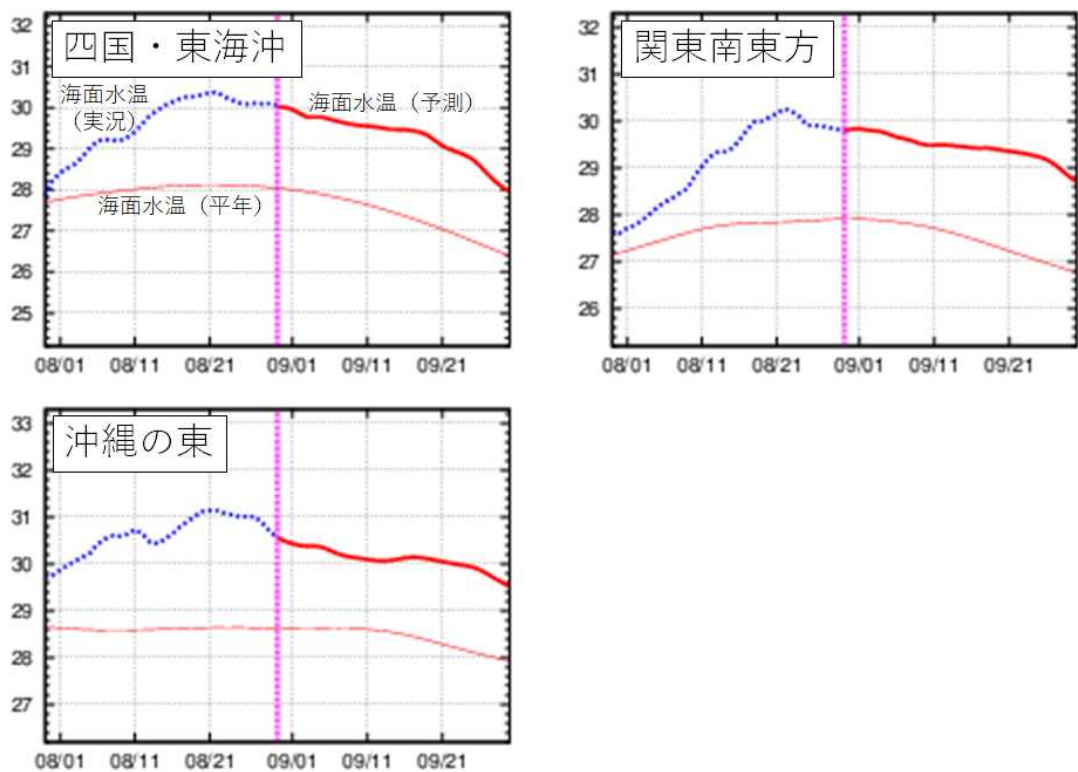


図3 関東南東方、四国・東海沖、沖縄の東の海面水温の実況と予測の推移  
 青点線が過去の水温、赤太線が今後の予測、赤細線が平年値を示し、桃色の縦線が8月30日を示す。

表1 関東南東方、四国・東海沖、沖縄の東の月平均海面水温が高かった月

順位	関東南東方		四国・東海沖		沖縄の東	
1	2020/8	29.3°C	2020/8	29.8°C	2020/8	30.7°C
2	1999/9	29.0°C	2013/8	29.3°C	2001/7	30.1°C
3	1999/8 1995/8	28.9°C	1998/8	29.2°C	1998/8	30.0°C